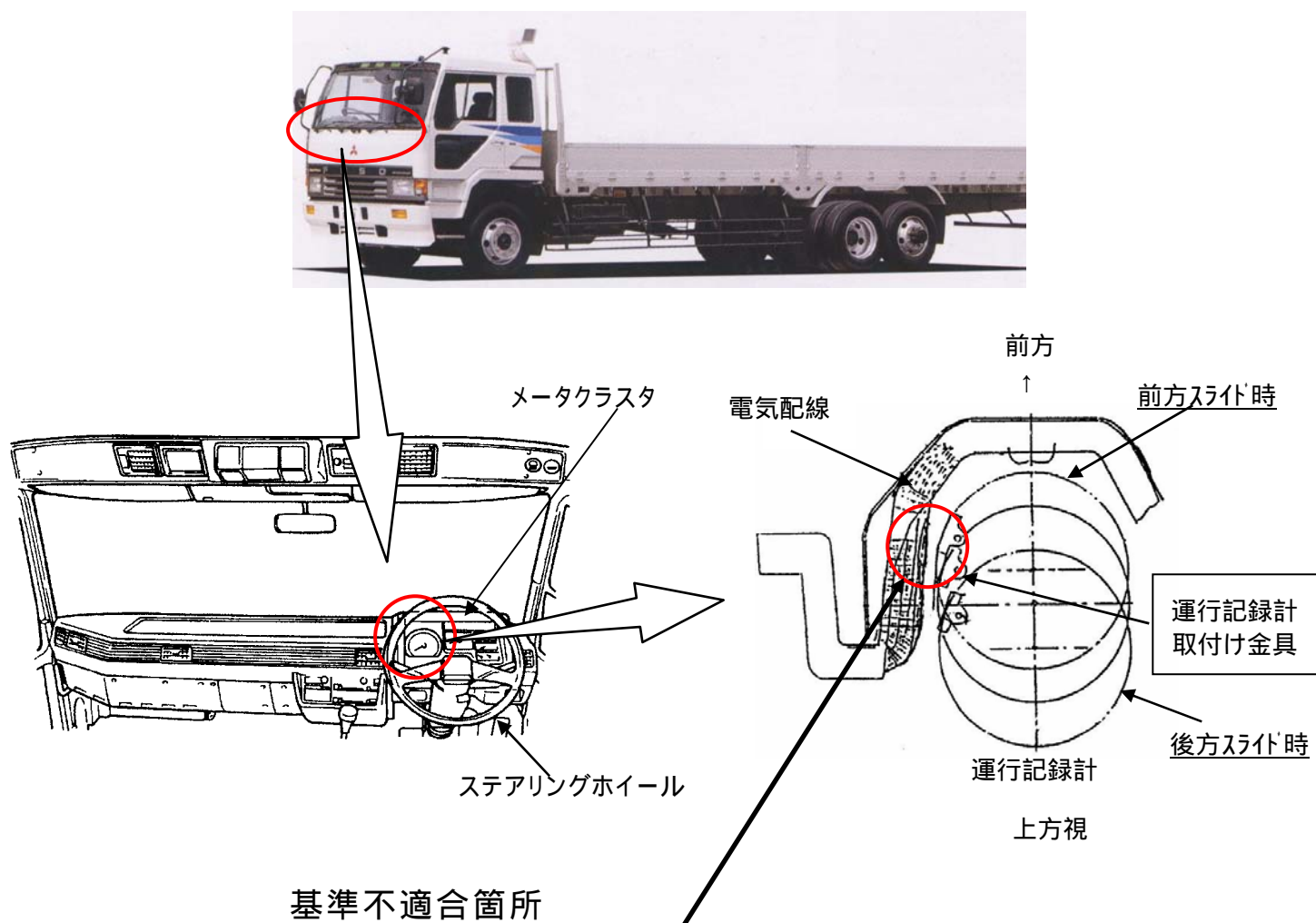


改善箇所説明図



メータクラスタ内の電気配線の取り回しが不適切なため、ステアリングホイールの位置を最前方へスライドさせると、当該配線が運行記録計の取付け金具と干渉し、当該配線が損傷するものがある。
 そのため、そのままの状態で使用すると、当該配線がショート、又は切断して、最悪の場合、前照灯が不灯になる、又はエンジンが始動不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該配線の取り回しを修正するとともに運行記録計の取付け金具を対策品と交換し、当該配線と運行記録計の取付け金具との隙間を確保する。
 なお、当該配線が損傷している場合には、補修する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラー스트ライカ付近に「HD-42」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。